

【平成16年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

事業名	動物共生・環境コーディネーター育成プログラム開発と実践		
学校法人名	学校法人 中央工学校		
学校名	中央動物専門学校		
代表者	理事長 大森 厚	担当者 連絡先	校長 坂本 敏 東京都北区東田端一丁目 8-11 TEL 03 - 3819 - 1111

< 事業の概要 >

犬や猫に代表される動物(ペット)は、現在では家族の一員という存在として認識されてきている。そうしたペットを巡る社会認識の変化の中で、人間社会における共生・居住環境の見直しが必要とされている。そこで住宅の設計者や集合住宅の管理者、飲食店や宿泊施設等のサービス業者、福祉関係者等、人と動物との居住空間に関わる各界の専門家を対象に「動物共生・環境コーディネーター」の育成を目的とした教育プログラムの開発を行い、実証的な研修を行うことによってその正当性を確認し、人材育成に寄与することを狙いとした。

< 成 果 >

本事業では、動物共生・環境コーディネーターの必要性を探るため、各分野の動物との問題点や現在実施している状況や改善点及び問題点等を実態調査した。その後、それらに準拠した教育プログラム及び教材開発に必要な資料をテキスト化し、教育効果測定及び有効性の検証のための講習会を実施した。

教育プログラムの開発とその検証に先立って取り組んだ実態調査・調査分析の結果、店舗やホテル等各施設における受け入れ態勢は徐々に整備されているが、動物の生態について熟知されていない等、動物に接する従業員の知識不足が問題になっている。それらに基づく専門家との検証を踏まえて、建設業界・サービス業界向けに教育プログラムを開発し、教育効果測定を行ってきたが、飼い主と一般の狭間を埋める役割を担うためには、さらに広い知識の普及と理解が欠かせない。今回の検証では、動物関係知識の教授と普及のための教育効果測定のみには止まったが、講習会後に実施した教育効果アンケートによれば、関連資格の必要性については動物愛好者のみならず建設業界等の実務者からも要望があり、その有用性と現状での制度的不備を示している。今後は今回の事業成果を関連団体へ周知させるだけでなく、動物共生・環境コーディネーター育成のための関連講座の開講や、対象分野教育機関である専門学校等の新教科目導入推進等に活用し、学校教育レベルから普及させる必要がある。さらに、市民権を得るために資格制度の確立まで視野に入れた活動が求められる。

最後に、本事業のテーマである「キャリアアップ教育推進」の実現ためには、学ぶ場、学ぶ機会の設定も重要であるが、修得した専門知識や技術が一般社会で広く受け入れられ、職業として認知され、経済的自立も可能となることが望まれる。このためにも公的認定制度等の法的バックアップの体制が重要であるということを感じた。

【 講習会の概要 】



[ 講 義 ]

講義によりコーディネーターに求められる基礎知識を習得する。  
犬・猫を中心とした動物に関する知識として、動物法令・人獣共通感染症・動物の行動・動物の管理方法等を学び、コーディネーターの必要性や役割について学ぶ。



[ ロールプレイング ]

実際に動物を用いたの実体験。  
視覚障害者の立場に立った体験、諸施設での犬の行動及び障害物となる家具の配置等の考慮について実体験し、それぞれの立場に立った経験をjする。



[ パネルディスカッション ]

講師と講習会参加者が意見交換を行い、今後の動物業界のニーズ、動物との共生を適正に進めるために求められるものはなにか等、各自の立場から問題提起や解決策などを討論する。